

Attractions of Japan





Asakusa

浅草

浅草

浅草（あさくさ）は、東京都台東区の地名。浅草一丁目から七丁目までが置かれている。郵便番号は111-0032。

江戸時代以前から東京随一の繁華街として栄えてきた。関東大震災では浅草台地の固い地盤で揺れによる被害よりも主に火災で焼かれた後、東京都の都市計画により道路拡張をはじめ新たに市街地化された。第二次大戦では壊滅的な被害を受けたが目覚ましい復興を遂げた。高度経済成長期以降は山手線沿線の池袋・新宿・渋谷などの発展により、東京都が制定する副都心（7ヶ所）として、上野と共に上野・浅草副都心を形成。現在も江戸の下町情緒を感じさせる街として賑わっている。

近隣には厨房で使用する業務用調理器具関連用品を取り扱う合羽橋道具街など個性的な商店街なども存在する。

古くからの浅草地区のランドマークとして浅草寺山門である雷門（かみなりもん）が知られる。明治後期には、第六区に建てられた十二階建ての凌雲閣が有名となり、浅草十二階と呼ばれランドマークとして認知されていた。しかし、大正期の関東大震災で崩壊。昭和初期には西浅草に森下仁丹が広告塔を建設。仁丹塔の愛称で戦後も長らく親しまれたが1986年に解体された。1990年代以降には吾妻橋対岸の墨田区本所にあるアサヒビール本社ビルも、その屋上の特徴的なオブジェが浅草の風景の一部として認知されている。また、同じく対岸の墨田区押上の東京スカイツリーが街の背景に臨め、浅草の景観に彩りを添えている。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/浅草>

Tokyo Sky Tree



東京スカイツリー

東京スカイツリー（とうきょうスカイツリー、英：TOKYO SKYTREE）は東京都墨田区押上一丁目にある電波塔（送信所）である。観光・商業施設やオフィスビルが併設されており、ツリーを含めた周辺施設は東京スカイツリータウンと呼ばれる。2012年5月に電波塔・観光施設として開業した。

1997年頃から既存の電波塔である東京タワーに代わる新タワーについて首都圏各地で誘致活動が行われていたが、2003年12月に日本放送協会（NHK）と在京民間テレビ局5社（日本テレビ、TBSテレビ、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京）が600m級の新しい電波塔を求めて「在京6社新タワー推進プロジェクト」を発足、新タワー構想を推進していくことで建設に向けた計画に進展がついた。

東京スカイツリーの建設目的は東京タワーが位置する都心部では超高層建築物が林立し、その影となる部分に電波が届きにくくなる問題を低減するほかにワンセグやマルチメディア放送といった携帯機器向けの放送を快適に視聴できるようにすることも建設目的のひとつとされた。

事業主体は東武鉄道が筆頭株主となる「東武タワースカイツリー株式会社」であり、事業費は約500億円とした。このために、同社は500億円のユーロ債のCBを発行して資金調達を行っている。建設費は約400億円。総事業費は約650億円。施工は大林組、設計は日建設計である。テレビ局からの賃貸料および観光客からの入場料などで収益を得る見込みである。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/スカイツリー>

Shinjuku Ward



新宿

新宿（しんじゅく）は、東京都新宿区南西部と一部渋谷区にまたがる新宿駅を中心とした歓楽街・オフィス街であり、渋谷、池袋と並ぶ3大副都心の一つである。江戸時代は甲州道中の宿駅（内藤新宿）として栄え、近代以降は関東大震災を契機に繁華街として成長している。町名としては新宿一丁目から新宿七丁目が存在する。

武蔵野台地の東方に位置し、甲州道中の宿駅（内藤新宿）として栄えた。明治維新後に鉄道駅が置かれたが、繁華街として本格的な発展を遂げたのは、関東大震災後のことである。すなわち、銀座や浅草などの下町に比べて新宿は表層地盤が非常に強く被害が軽微であり、震災後に人口が激増した西部郊外にとって当時の中央線が都心に乗換えなしに行ける唯一の鉄道であったことから、私鉄各線からの乗り換え需要で新宿に交通が集中するようになり、昭和初期には、都内有数の一大歓楽街となったのである。そして、1965年に淀橋浄水場が閉鎖され、新宿副都心の開発が始まると、西新宿に超高層ビルが林立し、1991年の東京都庁移転などを経て、今日見られるようなオフィス街を形成した。1990年代以降は、新たな鉄道駅（1996年の西新宿駅や2000年の東新宿駅）の設置により、複合型の超高層ビルや超高層マンションを中心とした再開発が進んでいる。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/新宿>